

「平成24年度東久留米市事務事業見直しのための仕分け」 委員の意見・提言

番号	B-5	担当課	福祉総務課
事務事業名	シルバー人材センター事業		

判定区分													
(仕分け市民委員数はA班5名、B班5名)													
1	不要	2	民間	3	国	4	東京都	5	他市町村との広域連携	6	東久留米市(改善有)	7	東久留米市(現行通り)
0		0		0		0		0		5		0	

仕分け委員 意見・提言

委員・・・6東久留米市(改善有)③自主財源確保の努力(料金改定など)⑦その他(補助金の見直し)

○「市の補助基準を改め、都の基準(2,499万円の1/2を補助する。)と同様のものとする。」ように改善して欲しい。

委員・・・6東久留米市(改善有)⑦その他(補助金額の見直し)

○シルバー人材センターの資産がどんどん増えていく状況にある。市がやせ細っている中で、補助金の見直しが必至！

○市が所管する団体であるならば、年々財産が増加する構造や一般的に高額と思える職員の人件費を指摘し改善させるべき。

○所管の団体の資産についての質問に答えられないのは、監督できていない証拠。

委員・・・6東久留米市(改善有)③自主財源確保の努力(料金改定など)⑦その他

○全体として事業はうまくいっているように思えるので、補助金の額とりわけ職員人件費分を減らすべき。また、自助努力的には、各種学習教室など児童向けのものをもって大きく成長させるべき。

委員・・・6東久留米市(改善有)③自主財源確保の努力(料金改定など)

○市の財政状況が悪化する中、黒字の法人への補助金の是非は如何？

委員・・・6東久留米市(改善有)①事業内容が趣旨・目的の達成手段として不適切③自主財源確保の努力(料金改定など)

○全体の補助金の見直し→メスを入れ考え直す。

○全額ほぼ人件費に支出しているため、補助金の減額を。(毎年の同額は不可)

○センター独自の財政基盤の強化を図る。

○毎年・定期的な支出額3千1百万円の補助金は見直し、人件費の支出ではなく事業の開拓に補助金の使い道を考える。

○対象経費の明確化→適正化をチェックする。

担当課の考え方

市はシルバー人材センターに対して、高齢者等の雇用の確保に関する法律により、高齢者の臨時的な雇用及び簡易な業務の確保のため、その支援をするとされており、今後も育成・支援を図ってまいります。また、市補助金交付については、市として、シルバー人材センターの経営状況を踏まえて、人件費並びに事業費の精査に努め、団体の今後の自立強化に向けて指導してまいります。